



日刊 動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 (鉄電) 千葉2935・2939番
(公) 043(222)7207番
FAX 043(224)7197番

2000.10.5 No. 5204

三大闘争＝第29回定期大会闘う方針確立

闘争宣言ここに発す!

動労千葉 第29回定期大会



動労千葉第29回定期大会は、二日目、一日目に提起された、経過報告、会計報告、運動方針、財政方針までの一括質疑が行なわれた。

質疑で出された主な意見・質問

- ・総武快速線ATOS導入に伴って、指令が東京に移行する。現行と変わるような取り扱いなど、本来指令が行なうべき業務まで、運転士に行なわせようとするなど、業務量の拡大につながるもの。
- ・整備新幹線盛岡以北着工によれば、在来線の盛岡、青森間が第三セクター化される。これにより貨物への線路使用料は、現行の五倍とも言われている。分割・民営化の枠組みそのものの問題だが、運輸省などにも整備新幹線の着工問題について抗議していくべきだ。また、一二月

ダイ改で輸送ルートが京葉ルートに変更される。基地統廃合阻止に向けてどう闘いをつくっていくか、職場を守っていく運動を強化したい。

- ・貨物列車の京葉ルート移転に伴って、列車運行が乱れたときなどの列車操縦、また、地域住民に対する騒音問題など、当局はどういう対応・施策を考えているのか。一二月ダイ改では、海浜幕張駅に特急列車を停車させる提案となっているが、夏期に行なつた舞浜駅停車のような、何人も利用しないということになるのではないか。
- ・「標準数」の要員配置で、余裕のない区員配置となっている。乗務員の異動について、希望にそつた転勤操縦を今後も粘り強く求めていく。DL関係の教育訓練や要請などを含めて考えるべきだ。
- ・「シニア制度」に反対する当該の三名の組合員の、不当労働行為を糾弾し、あとに続く人のためにも頑張る決意に、われわれも応えなければならぬ。同じくこの攻撃とセットになつた検修・構内外注化攻撃が提案された。随時、外注化していくという中身など、指揮命令系統まで崩壊させていくものだ。断じて許されない。
- ・東日本においては、「シニア制度」という定年延長とは全く言えない制度が提案されているが、貨物におけるシニア制度について、どのようなものが想定されるか。また、貨物会社への

格差・低額回答を断固阻止していくために、具体的な闘いも設定していく形で闘っていくべきだ。

- ・乗務員の指導操縦者について、組合差別により運転士になつて三年ぐらいの乗務員が見習いを指導しているのが現実だ。指導操縦者の問題について、何とか打破していかないと運転保安上からも重大な問題だ。
- ・検修・構内外注化攻撃は、社員と関係社員が同居して業務につくなど、最終的には乗務員にもしわよせのかかってくる由々しき問題だ。また、高齢者対策としての位置さえ奪っていく攻撃だ。真の定年延長を含め、安心して働けることのできる環境、業務、車両を求めて断固として外注化攻撃に反対していく。
- ・営業関係では、年度末施策において、人員削減の提案が出されるのではないかと。実際に現場段階での調査を行なつていった。
- ・東労組のピラが組合員の自宅に郵送されてきている。不当介入でありわれわれに対する挑戦だ。現場段階で断固として抗議してきている。

以上のような、質疑応答を経て、本部・中野委員長が総括答弁を行い(要旨別掲)、向こう一年間の三大闘争に向けた意思統一がなされた。

大会はその後、スト権一票投票を行い、賛成多数(投票37



裏面に中野委員長長の総括答弁の要旨と祝電・メッセージをのせてあります。

票、賛成37票)によって批准された。

全国のJR国鉄労働者よ!

三大闘争の旗の下に結集せよ!

大会はその後、教育基本法改悪、有事法制定、憲法改悪絶対阻止に向けた決議を採択、闘争宣言を採択し、「四党合意」粉碎—〇四七名闘争勝利!—「シニア制度」—業務の全面外注化攻撃粉碎!組織拡大の実現に向け、二一世紀を展望する闘いの指針が確立された。

全国のJR国鉄労働者に訴える!三大闘争の旗の下に結集せよ!

委員長書とめ (要旨)

二日間の討議を経て、全体として勢いが出てきたと感じる。

貨物への攻撃は、分割・民営化の破綻を表している。外注化の問題もこれをもってJR東日本がこのあとどうするのか何もない。技術力のない会社になってしまふ。これで鉄道会社として成り立っていくのかも見極められず、こういう形で分割・民営化の矛盾を決着つけようとしている。シニア問題も同じだ。

整備新幹線の問題も貨物の赤字体制を直撃する。貨物に犠牲を転嫁して我慢すればなんとかなるという問題じゃない。

東労組の中でも矛盾が拡大している。内部から造反する部分が出てきている。

こうした敵の陣営の矛盾が爆発する一方、動労千葉は会館を新築するなどの前向きな指向でやってきた。その雰囲気は現場でも広がっている。これが今年二〇〇〇年の大会の特徴だ。

一三年目にして初めて予科生の中から運転士がとれた。矛盾点のなかで、風穴をどうあけていくのか。

三大闘争方針は、双方が連携し、組織拡大を貫きながらやっていくことである。外注化反対の闘いは運転保安の闘いであり、同時に組織拡大の闘いである。こういう構造で闘っていく。

現場で検修が合理化されたらどうなるのか、乗務員サイドからもこれをどうとらえるのかなど検討してほしい。またATOS導入での問題点や指導訓練の問題など、現場で拒否する闘いにしていく。これまでのように団交をやるだけでなく、現場での

闘いを強めていく。この問題はひとり動労千葉だけの問題ではない。現場では職場にいるみんなの問題だ。そういう観点から全体を巻き込んでいく闘いにしていくことだ。

全組合員が団結して三大方針で闘っていくことを訴えたい。

第二九回定期大会に寄せられた祝電・メッセージです

三一書房労組◆全国一般北陸リコー支部◆全通加古川◆東京東部労組◆部落解放同盟全国連合会・瀬川博◆川鉄千葉労組◆国労千葉地本◆全金本山労組◆東京ベイシティ交通労組◆全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部◆千葉県労働金庫◆全労済千葉県本部◆山田書院労組◆自治労千葉県本部◆全水道千葉県水道労組◆全国一般長崎連帯労組◆京成電鉄労組◆荏原金属労組◆情報労連千葉県協議会◆千葉海浜交通労組◆千葉交通労組◆キックマン労組◆全農林千葉県連絡会議◆千葉内陸バス労組◆新京成電鉄労組◆小湊鉄道労組◆セイコークロック・プレジジョン労組◆千葉県議会議員・堀江はつ◆成田市議・足立満智子◆全国労組交流センター代表運営委員佐藤芳夫◆元学習院大学教授・弁護士宮島尚史◆福島県労組交流センター◆全国金属機械労組港合同◆動労西日本◆全国沖縄青年委員会◆関西実行委員会代表世話人・永井満◆動労高崎連帯労組◆婦人民主クラブ全国協議会・相模原市議・西村綾子◆北富士忍母草母の会◆高陽第一診療所労組◆関西合同労組◆部落解放同盟全国連合会茨城県連合会執行委員長・石川辰衛◆国労小倉地区闘争団・日豊オルグ班◆日本板硝子共闘・千葉支部◆スタンダードパキューム自主労働組合◆動労西日本・北陸支部

どうもありがとうございました。